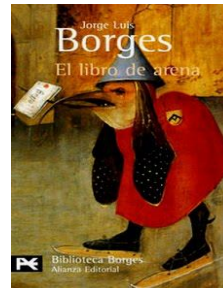
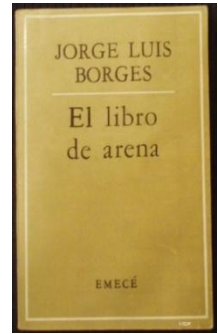


● ブエノス・アイレスの迷宮 Updated



(1992年に移転、新装なった図書館)



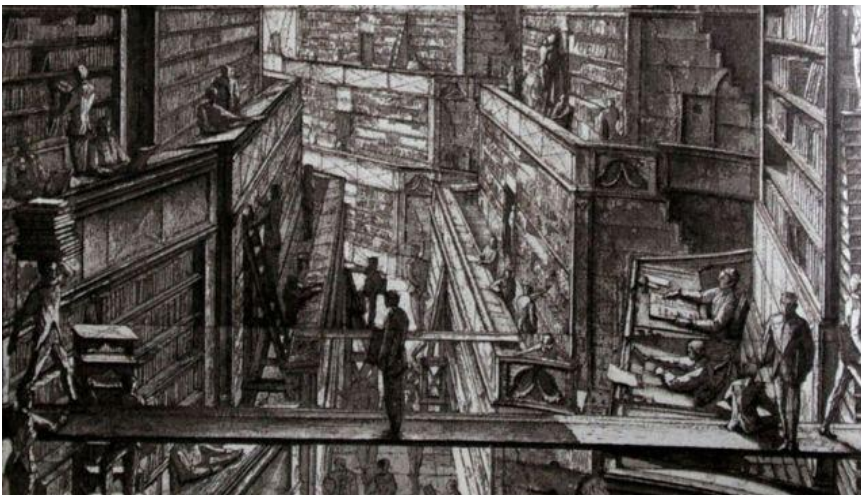
アルゼンチン国立図書館

Evelyn Proimos CC BY 2.0

ボルヘス著「砂の本」と「フィクション」

<https://malaqui.wordpress.com/2014/05/20/libro-de-suenos-una-travesia-onirica/>

GFDL, Jorge Romeira CC-BY-SA-3.0



「バベルの図書館」 ボルヘス著「フィクション」の中の挿絵 La biblioteca de Babel es un cuento de Jorge Luis Borges, insertado en el libro Ficciones en 1944.

Fuente original: Escuelapedia.com



コリエンテス 348 (名曲「ア・メ ディア・ルス」に出てくる番地)

Aleposta CC BY-SA 3.0

ブエノス・アイレスの迷宮 (アルゼンチン) 追跡 2025年2月23日

パローロ宮殿 (Palacio Barolo)



© Palacio Barolo

ブエノスアイレスの中心、五月広場と国会議事堂広場を結ぶ五月通りには、見逃すことの出来ない観光スポットが集結している。このパラシオ・バローロもまた、五月通りに位置する重要建築物のひとつである。

パラシオ・バローロは、イタリア人の建築家マリオ・パランティによって **1922年** に建てられたブエノスアイレスで最も美しいアールヌーボー建築である。イタリアの繊維会社の社長 **ルイス・バローロ** の依頼によって建てられ、1935年にカバナビル（サン・マルティン広場にある高層ビル）が建つまではブエノスアイレスで最も高い建築物であった。

パラシオ・バローロの最大の魅力は、建物全体が **ダンテの「神曲」** に着想を得ているということ。地獄篇、煉獄篇、天国篇の3部作からなる神曲同様、建物は下部、中部、上部の3部構造になっている。天井の9つのアーチは地獄の9層、建物の高さ100mは神曲全体の100歌を表している。建物は全部で22階から成り、各階は2ブロックに分かれている。各ブロックに11部屋、つまり各階ごとに22部屋ある計算になる。この22という数字もまた、神曲の22の韻律を示している。

建物の最上部に位置する灯台は、30万個の点火プラグによりウルグアイから確認することも可能なほどであった。40年以上ブエノスアイレスを照らすことのなかったバローロの光は、2010年アルゼンチンの建国200周年を機に復活した。

1997年、パラシオ・バローロは国の重要建築物に指定された。これからもブエノスアイレスの街を誇り

高く見守り続けることだろう。

[Palacio Barolo](#)

Av. De Mayo 1390, Downtown, Buenos Aires

Text: [Mami Goda](#) Shift Japan

<https://www.shift.jp/org/guide/buenos-aires/others/palacio-barolo.html>

➤ [Wikipedia](#) [パローロ宮殿](#)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%90%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%AD%E5%AE%AE%E6%AE%BF#>



Alienlanus CC by 3.0

アルゼンチンが誇る**幻想と迷宮の作家ボルヘス**が描いた「**バベルの図書館**」とは、この世のあらゆる書物を取めるという幻想の図書館。「**砂の本**」は始まりも終わりもない謎の書物に関する話。迷宮の旅をいざなう「**アトラス: 迷宮のボルヘス**」。そしてブエノス・アイレスといえば、ダンテの新曲の世界を建物で表現した「**パローロ宮殿**」が見逃せない。これぞ「**ブエノス・アイレスの迷宮**」だ。次ページの図は本書「**ロスト・タブレット**」の作者フェルナンド・世在が描いた**ダンテの宮殿**である。

ブエノス・アイレスの迷宮： バローロ宮殿でダンテの神曲：天国・煉獄・地獄の世界を再現

